

2025年度版

出前授業

ご案内

滋賀短期大学

本学では、高校生を対象に、短期大学における授業の内容や進め方などについて知っていただくことを目的として「出前授業」を実施しております。

貴校で実施を予定されている「総合的な探究」、その他の教育活動において、この「出前授業」を活用していただければ幸いです。

なお、授業等の時間や内容については、貴校の実情を考慮して柔軟に対応したいと思います。

【実施要領】

- 高校生を対象にしています。
- 授業ならびに派遣にかかる費用のご負担はありません。
- 派遣先学校と本学の講師が、内容・時間などを十分に相談して進めます。
- 本学の授業の関係で、お受けできない曜日・時間があります。

【お申し込みについて】

お申し込みの際は、次の①～⑥を本学入試広報センターまでお知らせください。

- ①学校名 ②ご担当者名 ③ご連絡先 ④希望授業・分野 ⑤学年・受講予定者数
⑥実施予定時期・曜日

滋賀短期大学 入試広報センター

〒520-0803 大津市竜が丘 24-4 TEL 077-524-3848 FAX 077-523-5124
URL:<http://www.sumire.ac.jp/tandai/> e-mail:tnyusi@sumire.ac.jp

出 前 授 業 メ ニ ュ ー

講 座 名	教 員	ページ
食を通して世界を学ぶ ー乳ー	中平真由巳	1
食を通して世界を学ぶ ーとうもろこしー	中平真由巳	
「食の安全・安心」とは	濱田尚美	2
スポーツ栄養学の基礎知識	濱田尚美	
必要なカルシウムの量を知ろう！	山岡ひとみ	3
給食ができるまでを知ろう！	山岡ひとみ	
1日に消費するエネルギーを計算してみましょう	白木理恵	4
どれだけ食べたらいいのか考えよう	白木理恵	
世界のお菓子	石井明	5
製菓・製パンの世界	石井明	
医師事務作業補助者が医療を変える	沖山圭子	6
チーム医療	沖山圭子	
体の中でおこる化学反応	田中裕之	7
医療事務というお仕事	田中裕之	
わたしたちはなぜ働くのか ミッションについて考える	江見和明	8
地域を活かす！自分のアイデアでつくる未来のビジネス	江見和明	
プロジェクションマッピングの仕組み	小笠原寛夫	9
身近なデバイスを使用したAR体験	小笠原寛夫	
副業・複業としてのハンドメイド	仲村恭子	10
漢字について考える	伊澤亮介	
なぜ子どもに運動が必要なのか	北尾岳夫	11
“生きる力”を育む体験活動	北尾岳夫	
子どもの成長と音楽	柚木たまみ	12
赤ちゃんの不思議	菅真佐子	
子どもの心理発達と絵本	菅真佐子	13
学びの一步 ～「当たり前（自明性）」を問う～	齋藤尚志	
子どもの権利条約を知っていますか？	齋藤尚志	14
子どもの音遊び	松井典子	
子どもの言葉と児童文化財	松村都子	15
出会いが要、幼児教育の豊かさ、おもしろさ	松村都子	
乳幼児保育・教育に関心のあるあなたへ (保育現場の「これまで」と「これから」)	松村都子	16
紙とハサミと、わたし	松村都子	
子どもと一緒に成長するために大事なこと	鶴川陽子	17
保育園・幼稚園の先生の仕事の楽しさ	鶴川陽子	
困りごとへの寄り添いと理解	佐々木瞳	18

時間や内容については柔軟に対応します。お気軽にご相談ください。

教員名	中平真由巳	専門分野	調理学、食文化		
講座名	食を通して世界を学ぶ ー乳ー	所要時間	50分		
対象学年	特になし	定員	40人		
<p><内容・目的></p> <p>食文化は民族が培ってきた英知の結晶です。ここでは、各地域の食文化を決定する背景と なってきた気候や風土、生態などの環境的要因を理解します。食を通して他国の民族の知恵 に触れてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	中平真由巳	専門分野	調理学、食文化		
講座名	食を通して世界を学ぶ ーとうもろこしー	所要時間	50分		
対象学年	特になし	定員	40人		
<p><内容・目的></p> <p>食文化は民族が培ってきた英知の結晶です。ここでは、各地域の食文化を決定する背景と なってきた気候や風土、生態などの環境的要因を理解します。食を通して他国の民族の知恵 に触れてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	濱田 尚美	専門分野	食品衛生学、栄養学		
講座名	「食の安全・安心」とは		所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生		定員	30人	
<内容・目的>					
<p>食品を「見る」、「選ぶ」、「作る」、「食べる」など、食は毎日の生活の中の楽しみであり、生きていく上で必要不可欠です。だからこそ「安全」であり「安心」できるものでなくてはなりません。食に関する様々な事柄に関心を持ち、食の安全・安心のために「自分自身はどうすべきか」について考えてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	濱田 尚美	専門分野	栄養学、食品衛生学		
講座名	スポーツ栄養学の基礎知識		所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生		定員	30人	
<内容・目的>					
<p>健康やリフレッシュのため、競技スポーツなど、多くの方が運動について関心を持っています。運動を行うためにはまず「体づくり」をすることが重要です。体づくりには毎日の食事が大きく影響します。スポーツ栄養学の基礎知識を知って日頃の食生活を見直し、日々の練習や努力が成果につながるように、「食事」と「栄養」について学びましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	山岡ひとみ	専門分野	臨床栄養学		
講座名	必要なカルシウムの量を知ろう！		所要時間	60分	
対象学年	高校 1～3年生		定員	30人	
＜内容・目的＞					
骨や歯は、カルシウムで作られています。カルシウムが不足すると、成長に大きな影響が及ぶだけでなく、骨粗しょう症という病気になりやすくなります。カルシウムの吸収率は10代が高く、今のうちにしっかりと摂取しなければいけません。					
そのため、日々の食事の中で意識したカルシウムの摂り方が必要です。					
毎日の食事でどれだけのカルシウムが摂れているのか確認してみましょう。					
必要なカルシウム量を摂取するには、どれだけのカルシウムが必要なのか学びましょう。					
必要な設備	パソコン、プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具、電卓				
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	水曜日	

教員名	山岡ひとみ	専門分野	給食経営		
講座名	給食ができるまでを知ろう！		所要時間	60分	
対象学年	高校 1～3年生		定員	30人	
＜内容・目的＞					
保育所、小学校、中学校のお昼時間に食べたことのある給食とは、どのような食事のことをいうのでしょうか？					
給食の献立は、誰がどのように考えて作っているのでしょうか？					
給食が安全に作られるための、衛生管理や給食の歴史、給食の大量調理の方法などについて学びます。					
必要な設備	パソコン、プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	水曜日	

教員名	白木理恵	専門分野	食育・食物アレルギー	
講座名	1日に消費するエネルギーを計算してみましよう	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
エネルギーを消費するというと体を動かす必要があると思われがちですが、体を動かさずに勉強をするなどをして脳を動かしてもエネルギーを消費しています。日々の生活を振り返って、1日にどのぐらいのエネルギーを消費しているのか計算してみましよう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具、電卓			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	白木理恵	専門分野	食育・食物アレルギー	
講座名	どれだけ食べたらよいのか考えよう	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30	
<内容・目的>				
健康に生活していくための食事量は、年齢・性別などによって人それぞれです。				
実際に食事バランスガイドを活用して、日々の食事を見直してみましよう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具、電卓			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	石井 明	専門分野	製菓		
講座名	世界のお菓子	所要時間	50分		
対象学年	高校1年生～3年生	定員	30人		
<内容・目的>					
<p>普段何気なく食べているお菓子(ケーキ)は、失敗から生まれたお菓子や20年間その人しか、作れなかったお菓子などがあります。</p> <p>それぞれの歴史があり、お菓子のルーツを少し学んでみましょう。</p>					
必要な設備	スクリーン、プロジェクター、HDMIケーブル				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	火曜日	10月～3月	火曜日	

教員名	石井 明	専門分野	製菓		
講座名	製菓・製パンの世界	所要時間	50分		
対象学年	高校生、中学生	定員	30人		
<内容・目的>					
<p>パティシエ、ブーランジェ、和菓子職人の仕事内容や、資格を知り、</p> <p>パティシエやブーランジェになるにはどんな人が向いているか、どうしたらなれるのかなど</p> <p>製菓・製パンの世界を学んでみましょう。</p>					
必要な設備	スクリーン、プロジェクター、HDMIケーブル				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	火曜日	10月～3月	火曜日	

教員名	沖山圭子	専門分野	医療秘書・診療情報・医療情報		
講座名	医師事務作業補助者が医療を変える	所要時間	45分		
対象学年	全て	定員	50人		
<内容・目的>					
<p>2024年4月より、医師の働き方改革がスタートしました。これまで、その職業よりも多忙を極めていた医師も、心身の健康を保ち、安全で質の高い医療を提供できるように、多様な職種の人たちがサポートするようになりました。そのひとつが、「医師事務作業補助者」です。事務職でありながら、医師の診察をサポートする人たちです。具体敵にどんな仕事をしているのでしょうか。その仕事内容と魅力をぜひ知ってください。</p>					
必要な設備	できればPC及びプロジェクター				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	沖山圭子	専門分野	医療秘書・診療情報・医療情報		
講座名	チーム医療	所要時間	45分		
対象学年	全て	定員	50人		
<内容・目的>					
<p>「チーム医療」という言葉を聞いたことがありますか？</p> <p>今の医療は、医師と看護師だけでなく、多様な職種の人たちが協同して患者さんの治療にかかわります。どのような人たちがどのような仕事をしているのでしょうか。また、それぞれどのような関りがあるのでしょうか。医療ドラマには登場しない職種の人たちもたくさん働いています。</p> <p>医療の現場は、多職種連携の時代です。ぜひ興味関心のある職種を見つけてください。</p>					
必要な設備	できればPC及びプロジェクター				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	田中 裕之	専門分野	生化学・生理学	
講座名	体の中で起こる化学反応	所要時間	要相談	
対象学年	全学年	定員	要相談	
<内容・目的>				
<p>生きるためには食べなければなりません。その食べたもの（化学物質）は体の中でどのようなのでしょうか。たとえば、ごはんはデンプンからできていて、そのデンプンはグルコース（ブドウ糖）がつながったものです。デンプンはお腹の中で消化され、体の中の細胞に取り込まれます。取り込まれたグルコースは酸化分解されて、その時発生するエネルギーを使って私たちが生きていくために必須のATPという細胞内エネルギー通貨が化学合成されます。このような体の中の化学反応がおこる仕組みについて解説します。</p>				
必要な設備	プロジェクターとスクリーンが必要です。パソコンは持参します。			
受講者が準備するもの	筆記用具の他には特にありません。			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	田中 裕之	専門分野	医学	
講座名	医療事務というお仕事	所要時間	要相談	
対象学年	全学年	定員	要相談	
<内容・目的>				
<p>医療事務とは医療機関（例えば、病院や診療所、クリニックなど）で働く事務職です。この授業では、医療事務に含まれる業務内容をいくつか解説します。また、求められる知識や資格についても紹介したいと思います。</p>				
必要な設備	プロジェクターとスクリーンが必要です。パソコンは持参します。			
受講者が準備するもの	筆記用具の他には特にありません。			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	江見和明	専門分野	経営学 地域ビジネス		
講座名	わたしたちはなぜ働くのか ミッションについて考える	所要時間	50分		
対象学年	1～3年生	定員	特になし		
<p><内容・目的>同じ仕事をしていても、人によって仕事に対する考え方は全く違います。</p> <p>ある人は、生活のために仕方なく働いているのかも知れないし、またある人は、大切な誰かのために働いているのかもしれません。人によっては、もっと違う何かを考えて働いているのかも知れません。</p> <p>私たちは何のために働くのか、そのヒントとして「ミッション」というものについて考えてみましょう。ミッションとは「使命」と訳すことができます。ミッションを持つことで何が変わるのか一緒に考えてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日	

教員名	江見和明	専門分野	経営学 地域ビジネス		
講座名	地域を活かす！自分のアイデアでつくる未来のビジネス	所要時間	50分		
対象学年	1～3年生	定員	特になし		
<p><内容・目的></p> <p>地域には、まだ活かされていない魅力や資源がたくさんあります。本講義では、「地域ビジネス」と「地域づくり」の視点から、身近な地域の未来をより良くするアイデアを考えます。実際の事例を紹介しながら、簡単なワークショップも実施し、自分の強みや興味を活かせる方法を探ります。ビジネスに興味がある人はもちろん、「自分にできることを見つけたい」と思う人にもおすすめの授業です。一緒に地域の可能性を広げてみましょう！</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日	

教員名	小笠原 寛夫	専門分野	メディアアート、インスタレーション		
講座名	プロジェクションマッピングの仕組み	所要時間	要相談		
対象学年	1～3年生	定員	10人		
<内容・目的>					
現在、様々な場所でプロジェクションマッピングを見る機会が多くなってきました。					
映像手法として大きく飛躍を遂げた”プロジェクションマッピング”の事例を紹介します。					
また、室内という限られた環境の中で投影を行い、自ら体験し新たな可能性を感じてもらいます。					
必要な設備	投影を行うので暗くできる空間が必要です				
受講者が準備するもの					
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	小笠原 寛夫	専門分野	メディアアート、インスタレーション		
講座名	身近なデバイスを使用した AR 体験	所要時間	要相談		
対象学年	1～3年生	定員	10人		
<内容・目的>					
AR（拡張現実）とは、現実空間にデジタルのコンテンツ（CG や音声、文字）を重ねたものです。エンターテインメント性の高いツールですが、現在はビジネスに活用される機会が多くなっています。					
AR の様々な活用事例を紹介し、身近なタブレットや PC を使用しながら制作の実演を行います。					
必要な設備	プロジェクターとスクリーンが必要です。				
受講者が準備するもの					
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	仲村恭子	専門分野	ものづくり、ファッションデザイン	
講座名	副業・複業としてのハンドメイド	所要時間	45～50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	要相談	
<内容・目的>				
働き方が多様化する中で、副業や複業が注目されています。その中で、誰でも簡単に始めることができる、ハンドメイド作家としての働き方を紹介します。また、講座内での制作を通して、ハンドメイド作品の魅力や仕事内容を理解してもらえればと思います。				
必要な設備	ハサミ等			
受講者が準備するもの	制作に必要なもの			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	伊澤 亮介	専門分野	言語社会学	
講座名	漢字について考える	所要時間	60分	
対象学年	1～3年生	定員	20名	
<内容・目的>				
漢字は、私たちにとって日本語を書き表す文字として欠かせないものです。しかし、それが今のように当たり前の物になるまでには様々な紆余曲折がありました。近代以降における、他の漢字文化圏（中国・朝鮮・ベトナム等）の言語政策と比較しながら、日本における漢字に対する考え方の変遷をたどり、これからの漢字について考えます。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン（パワーポイントを映したい）。パソコンは持参します。			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	金曜日（午後）	10月～3月	金曜日（午後）

教員名	北尾 岳夫	専門分野	体育方法学	
講座名	なぜ子どもに運動が必要なのか	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人	
<内容・目的>				
<p>子どもたちは、からだを動かすことが大好きです。幼児期の子どもたちにとって、からだを動かすこと（運動）にどんな意味があるのでしょうか。幼児期における運動の必要性、大切さについてお話しします。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	北尾 岳夫	専門分野	体育方法学	
講座名	"生きる力、を育む体験活動	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人	
<内容・目的>				
<p>現在、幼少期から"生きる力、を育むことの重要性が叫ばれています。担当教員が実践してきた幼児の体験活動を紹介しながら、その重要性についてお話しします。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	柚木 たまみ	専門分野	音楽表現、音楽学、声楽、音楽療法		
講座名	子どもの成長と音楽	所要時間	45分		
対象学年	特になし	定員	要相談		
＜内容・目的＞					
人間は、生まれてから6歳になる位までの間に、生きるために必要なからだところが急激に発達します。この発達、その後の、より良く生きていくための成長の基盤となります。					
音楽を利用した活動（あそび）は、子どもの成長のために非常に有用です。その理由について、音楽の持つ特性を確認し理解しましょう。そして実際に音と音楽を用いた表現活動を行い、体感してみましょう。					
必要な設備	PP投影のためのプロジェクター、スクリーン。楽器を鳴らすことのできる教室。ピアノ（キーボード）が使用できるとありがたいです。				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	菅 眞佐子	専門分野	子どもの心理発達		
講座名	赤ちゃんの不思議	所要時間	50分		
対象学年	1年～3年	定員	20人		
＜内容・目的＞					
人の赤ちゃんはたくさんの不思議な力を持って生まれてきます。赤ちゃんが持つその不思議な力について知ることを通して、人が成長するしくみの素晴らしさや、人として成長することの素敵さに触れてみましょう。					
必要な設備	パワーポイントのスライド提示・音声再生が可能なプロジェクタ・スピーカ（PCは持参します）				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	菅 眞佐子	専門分野	子どもの心理発達	
講座名	子どもの心理発達と絵本	所要時間	50分	
対象学年	1年～3年	定員	30人	
<内容・目的>				
<p>話題を集めている絵本、名作と言われる絵本など、実際にその楽しさに触れてみることを通して絵本というものが持つ魅力を体験するとともに、絵本が子どもに何を育ててくれるのか、一緒に考えてみましょう。</p>				
必要な設備	パワーポイントのスライド提示・音声再生が可能なプロジェクタ・スピーカ（PCは持参します）			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	齋藤 尚志	専門分野	教育学	
講座名	学びの一步 ～「当たり前（自明性）」を問う～	所要時間	40～60分	
対象学年	全学年	定員	10～40人	
<内容・目的>				
<p>学びの一步は、普段何気なくしていることや考えていることなどの「当たり前（自明性）」を疑うことから始まります。なぜ学校へ行くの？ なぜ勉強するの？ なぜ、なぜ、なぜ？ 私たちの思考・行動を縛っている「当たり前」を問い、そこから解き放たれ、自分を知ることで、モノコトをもっと自由に考えてみます。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	授業がない月曜日（隔週）	10月～3月	火曜日

教員名	齋藤 尚志	専門分野	教育学		
講座名	子どもの権利条約を知っていますか？	所要時間	40～60分		
対象学年	全学年	定員	10～40人		
<内容・目的>					
<p>子どもがおとなと同じ人間であることはみんな知っています。でも、子どもがおとなと同じように、自由に考え、行動し、おかしいことをおかしいと言っているのでしょうか。子どもにもおとなと同じように、いろんな自由や権利があります。受講生には、まずは子どもにも自由や権利があることを知り、理解してほしいと思います。そして、子どもに関わるさまざまな時事問題を、共に考えていきます。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	授業がない月曜日（隔週）	10月～3月	火曜日	

教員名	松井 典子	専門分野	幼児教育学 音楽表現		
講座名	子どもの音遊び	所要時間	45分		
対象学年	全学年	定員	40人		
<内容・目的>					
<p>子どもたちは音を介した表現遊びが大好きです。</p> <p>その全ての始まりは、まず音を「聴く」ことから。子どもたちがどのように音を聴き、触れ、感じ、そして表現しているのかを、発達の観点から探っていきましょう。</p> <p>そして、実際に皆さんと一緒に音遊びを楽しみたいと思います。子どもの視点にたちながら、音やリズム遊びを体験し、その中で表現活動の楽しさを味わいましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン、ピアノ（電子ピアノ可）				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育・乳幼児保育		
講座名	子どもの言葉と児童文化財	所要時間	60～90分		
対象学年	全学年	定員	25人		
＜内容・目的＞					
<p>生まれたばかりの、まだ言葉を知らない赤ちゃんは、いつ、どのようにして言葉を覚えていくのでしょうか？ 子どもの言葉の獲得について考えてみましょう。</p> <p>また、児童文化財（絵本やうたあそび等）は子どもの言葉の育ちに有効だと言われていますが、一体どんなものがあるのでしょうか。</p> <p>子ども達の喜ぶ絵本やうたあそびを一緒に楽しみながら、その理由も考えてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育・乳幼児保育		
講座名	出会いが要、幼児教育の豊かさ、おもしろさ	所要時間	60～90分		
対象学年	全学年	定員	25人		
＜内容・目的＞					
<p>子ども達は、今日の“ひよんな”出会いから、まるで連想ゲームのように、言葉の世界を広げ、遊びの世界を広げていきます。“ひよんな”出会いにより、乳幼児期における「環境を通して行う教育」が展開されていくのです。</p> <p>遊びを通して、子ども達がいろいろな気づきを得て、学んでいく過程を考えてみましょう。</p>					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具、サインペンか色鉛筆				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育・乳幼児保育		
講座名	乳幼児保育・教育に関心のあるあなたへ (保育現場の「これまで」と「これから」)		所要時間	60～90分	
対象学年	全学年		定員	25人	
<内容・目的>					
幼稚園や保育所のほかに、認定こども園が開設されたり、地域型保育事業が始まったりなど、近年、保育現場は様変わりをしてきています。それはなぜでしょう。					
保育現場の「これまで」と「これから」から考えていくと、園や保育者が今求められている課題や役割、ひいては日本の子育てや保育の現状にも関心が広がることと思います。					
幼児教育について考えるということは、子どもの未来について考えるということです。					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育・乳幼児保育		
講座名	紙とハサミと、わたし		所要時間	60～90分	
対象学年	全学年		定員	25人	
<内容・目的>					
身近な材料や道具を使って遊びましょう。					
子どもたちの日常的な遊びを実際にやってみることで、子ども達がどんなことを感じ、考えているのかを、改めて感じ、考えてみましょう。					
「経験する」ことが学びに転じ、確かな知識になっていく過程について学びます。					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	筆記用具、ハサミ、ボンドかのみ				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	鵜川 陽子	専門分野	幼児教育 保育者養成 保護者支援
講座名	子どもと一緒に成長するために大事なこと	所要時間	60～90分
対象学年	高校1年生・2年生・3年生	定員	30～40人
<内容・目的>			
<p>将来の夢が「保育園の先生になること!」「幼稚園の先生になること!」という気持ちを持っているけれど、実際にその夢を叶えるためには、何をすることが必要なのでしょうか。</p> <p>あこがれの先生になるために、大事なことは“心が動く”ことです。この講座は、実際に参加者の皆さんが、心が動く体感をしながら、保育者になるために大事なことを学び、将来の夢を叶えるために高校生の時代に準備できることをお伝えします。</p>			
必要な設備	特になし		
受講者が準備するもの	工作はさみ・セロハンテープ・筆記用具		
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月 要相談

教員名	鵜川 陽子	専門分野	幼児教育 保育者養成 保護者支援
講座名	保育園・幼稚園の先生の仕事の楽しさ	所要時間	60～90分
対象学年	高校1年生・2年生・3年生	定員	30～40人
<内容・目的>			
<p>保育園・幼稚園の先生の仕事は、何ですか?と質問されたら皆さんはどんな回答をしますか?</p> <p>「子どもと一緒に遊ぶ・子どものお世話をする・お母さん、お父さんの代わりにする」でしょうか?</p> <p>では、視点を少し変えて、保育園・幼稚園の先生の魅力は、何でしょうか?この講座は、参加者の皆さんと保育園・幼稚園の先生の仕事と魅力について一緒に考えながら学びたいと思います。</p>			
必要な設備	特になし		
受講者が準備するもの	筆記用具		
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月 要相談

教員名	佐々木瞳	専門分野	社会福祉学		
講座名	困りごとへの寄り添いと理解		所要時間	45分～	
対象学年	制限なし		定員	30人	
<p><内容・目的></p> <p>「福祉」や「支援」というと、どんな人に対して、どんなふうに支えることをイメージしますか？</p> <p>どんな場合の支援も、何かの困りごとを抱えた人の思いを聴いて寄り添うとともに、</p> <p>その人の困っている状況を、いろんな側面から理解することからはじめます。</p> <p>「聴く」「理解する」ときにどんな視点や態度が必要になるのか、事例を通して考えてみます。</p>					
必要な設備	スライドを映すための機器類（スクリーン・プロジェクタ等）				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	